

## 『あなたがたの助け主が共に』 ヨハネの福音書14章16～26節 2017.4.23(聖日礼拝説教より)

『万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。』  
ペテロの手紙 第一 4章 7～8節

イスカリオテではないユダがイエス様に問う。『主よ。あなたは…ご自分を世に現そうとなさらないのは、どういうわけですか(ヨハネ 14:22)』。『現す』とは「明らかに示す」の意。ユダに対するイエス様の答えから驚くべき真理を学びたい！

**①三位一体の神の愛の交わり**…まず聖書は、三位一体の神の存在と、その愛における一体感を明らかにする！**①父なる神**…『父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かし(ヨハネ 1:18)』、『この終わりの時、神は御子によって語られた(ヘブル1:2)』とある。御子が明らかにした御父とは、放蕩息子の父の姿にある(ルカ 15:11～)！『私たちが神の子どもと呼ばれるために…御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう( I ヨハネ 3:1)』。私たちを赦し、愛しておられる、この御父に立ち返り、全てを委ねて生きる安心を実感したい！**②子なる神**…御子は、「わたしと父とは一つ！…わたしが父におり、父がわたしにおられる(ヨハネ 10:30、14:11)』と言われた。この一体感、この信頼感は終始一貫！マタイ 18:14、ヨハネ 6:40にあるように、世の一人も滅びず、永遠の命を得て、ずっと一緒に！という御父の願いを実現するために、御子は完全服従された！**③聖霊なる神**…『その助け主はいつまでも、あなたがたと共に(14:16)』！聖霊は、(1)神が私たちと共におられることを確信させ、(2)『わたし(イエス様)が話したすべてのことを思い起こさせる(14:26)』。聖霊は、クリスチャンにとっての当たり前である「互いに愛し合うべきこと(13:34)」！を思い起こさせ、それを実行する力をくださる。

**④私たちを通して現わされる神の愛**…イエス様は、どのようにして神の愛(ご自身)を世に現すのかを語る！『わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認める(13:34～35)』と。クリスチャンが互いに愛し合うのは、三位一体の神様の愛が心にあり、その三位一体の神と共に住んでいるから(14:24)。神様は、主を信じる者同士が互いに愛し合う姿を通して、はじめて、ご自身(の愛)を世に現される！

★あなたは、御父・御子・聖霊の愛をいつも思い起こし、その神の愛の交わりにとどまり、その愛に心満たされて、互いの平和と笑顔を守っていただいているだろうか？